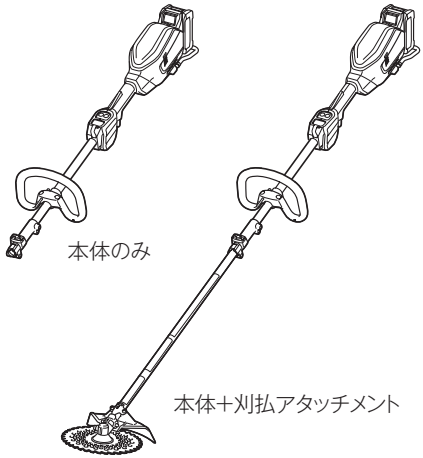
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

充電式
スプリットモータ

モデル MUX01G



このたびは**充電式スプリットモータ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意 …… 2
IP 表示について（防じん・防水性能）…… 23
注意ラベル …… 24
各部の名称 …… 25
標準付属品 …… 26
同梱品一覧 …… 27
別販売品のご紹介 …… 28
別販売品のご紹介（刈払アタッチメント用）… 29
ご使用前の準備（充電式スプリットモータ）… 30
・ハンドルの取り付け方
・六角棒スパナの収納方法
・アタッチメントの取り付け方
・肩掛けバンドの取り付け方
・肩掛けバンドのはずし方
・本製品の離脱
ご使用前の準備（刈払アタッチメント EM402MP）… 35
・刃物（刈刃）と飛散防護カバーの組み合わせ
・飛散防護カバーの取り付け方
・チップソー（刈刃）の取り付け方
ご使用前の準備（充電式スプリットモータ）… 41
・バッテリの取り付け・取りはずし方
使い方 …… 42
・スイッチの操作
・回転スピードの調整
・カラミトリボタンの操作
保護機能 …… 46
・本製品およびバッテリの保護機能
刈払作業 …… 47
・本製品の持ち方（EM402MP（刈払アタッチメント）装着時）
・刈払作業（EM402MP（刈払アタッチメント）装着時）
・AFT 機能
バッテリについて …… 50
充電器について …… 52
保守・点検について …… 62
・本製品のお手入れ
・駆動軸へのグリス補給および保管
・ギヤケースへのグリスの補給
・保管場所について
・ご修理の際は
・故障かな？と思ったら
主要機能 …… 65
充電式スプリットモータ 保証書 …… 68

安全上のご注意

JPA002-60

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

安全上のご注意

⚠警告

作業環境

1 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。

2 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
- 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。

3 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
- 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
- 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
- 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

2 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
- 感電する恐れがあります。

3 充電工具、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
- 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
- バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

4 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
- 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
- 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。

⚠ 警告

5 使用環境に適した延長コードを使用してください。

6 USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
- 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

作業者に関する安全事項

1 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3 不意な始動は避けてください。
- バッテリを本機に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

4 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

⚠警告

5 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6 きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

充電工具の使用および手入れ

1 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。

2 スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

3 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本機から抜いてください。
- 本機の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
- 保管、または修理
- 充電工具から離れるとき
- 本機の受け渡し
- その他危険が予想される作業

⚠ 警告

4 使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。

- 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。

5 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。

- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。

- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。

- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。

- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠警告

バッテリに関する安全事項

1 バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。

2 バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
- ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

3 マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
- 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

4 バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
- バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 本機または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。

5 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
- 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
- バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

6 バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
- 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

7 バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
- 発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

8 バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

9 分解・改造をしないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

10 バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
- バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

11 バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
- バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

12 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。

13 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
- 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

14 使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
- 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

15 バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

⚠警告

16 使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。火傷、低温火傷の原因になるため注意してください。

・使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているため火傷の恐れがあります。

17 バッテリに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。

・性能が低下したり、故障の原因になります。

整備

1 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

・本機、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
・本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検･修理に出してください。
・本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
・修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠警告

その他の安全事項

1 損傷した部品がないか点検してください。

・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
＜異常・故障例＞
・本機やバッテリが異常に熱い。
・本機やバッテリに深いキズや変形がある。
・焦げくさい臭いがする。
・ビリビリと電気を感じる。
・スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

・この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

・材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

4 ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

・爆発や火災の恐れがあります。

⚠警告

5 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

6 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

7 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

8 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

9 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

10 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

⚠警告

11 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
・ 誤動作や故障する恐れがあります。

12 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。
・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
・ ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

・本製品は充電式スプリットモータです。ご使用の際は取り付けを行うアタッチメントの取扱説明書をよくお読みください。充電式草刈機（刈払アタッチメント取付時）としてご使用の場合は、次の注意事項を守ってください。

⚠警告

1 本機は雑草の刈払いを目的とした機械です。この目的以外には、使用しないでください。

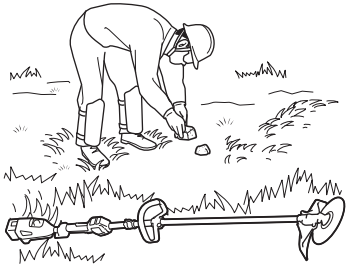
・目的以外で使用されますと、けがや事故の原因になります。また本機の寿命を縮めます。

2 作業場所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。

・埋設物があると刈刃が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。

3 作業場所にある小石、針金、空カン、空ビンなどの障害物は取り除いてから使用してください。

・使用中に刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、本機の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故やけがの原因になります。



4 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。また、ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。

・転倒してけがの原因になります。

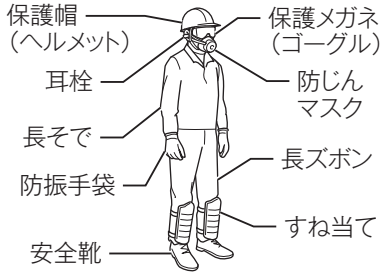
⚠ 警告

5 刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たる恐れのある場所では使用しないでください。

・ 使用中に刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たると、跳ね返りまたは刈刃が破損し、事故の原因になります。

6 保護帽（ヘルメット）、耳栓、保護メガネ（ゴーグル）、防振手袋、滑り止めの付いた安全靴、すね当てなどの保護具を着用してください。けがの原因になります。

・ 転倒や頭上の木の枝、落下物などから頭を保護するため、保護帽（ヘルメット）を着用してください。
・ 騒音から聴覚を保護するため、耳栓などの保護具を着用してください。
・ 刈刃部から飛んでくるものから目を保護するため、保護メガネ（ゴーグル）を着用してください。
・ 手の保護のため、防振手袋を着用してください。



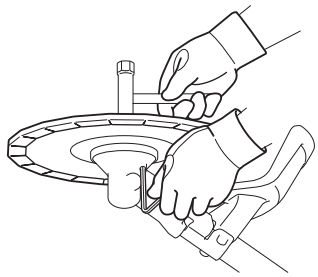
・ 刈刃部から飛んでくるものから足を保護するため、底に滑り止めの付いた安全靴（先しん入り）を着用してください。
・ 刈刃部から飛んでくるものから足を保護するため、すね当てを着用してください。
・ 粉じんの多い作業では防じんマスクを着用してください。

7 袖や裾の締まりのよい服装をしてください。また手ぬぐいやタオルを首からさげて作業しないでください。

・ 回転部に巻き込まれけがの原因になります。

8 刃物（刈刃）類や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。また刈刃の取り付け・取りはずしの際は、必ず手袋および刃物（刈刃）カバーを付け、手や顔などに直接刈刃が触れないようにしてください。

・ 確実に取り付けていないとはずれたりし、けがの原因になります。



⚠警告

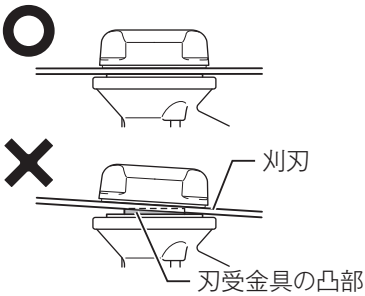
9 始動前に、刈刃にひび割れ、傷（欠け、摩耗など）、変形などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、刈刃点検時には手袋を着用してください。

・異常があると刈刃が破損し、けがの原因になります。

[刈刃の拡大図]

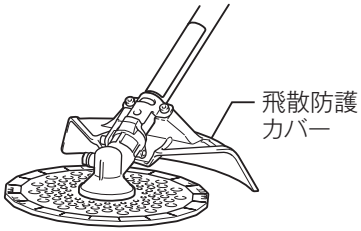
10 刈刃を取り付ける場合は、刃受金具の凸部と刈刃の取り付け穴を確実にはめてください。

・刈刃が正しく取り付いていないと異常振動し、けがの原因になります。
・刈刃が破損したり、はずれたりすると事故の原因になります。



11 飛散防護カバーは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。また、ひび割れや変形など異常のある飛散防護カバーは使用しないでください。

・飛散防護カバーを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けないで使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。
・異常のある飛散防護カバーは使用中に破損して、けがの原因になります。



⚠ 警告

12 ナイロンコードカッタを使用できる製品は、ナイロンコードカッタ専用の飛散防護カバーを使用してください。飛散防護カバーを取り付けるときは、ナイロンコード用のカッタに触れないでください。

・けがの原因になります。
・故障の原因になります。

13 ハンドルと肩掛けバンドは取扱説明書に従って確実に取り付けてください。肩掛けバンドを着用して、本機を体の右側に吊り、ハンドルの取り付け位置を調整してください。

・肩掛けバンド、ハンドルを取りはずして作業するとけがの原因になります。

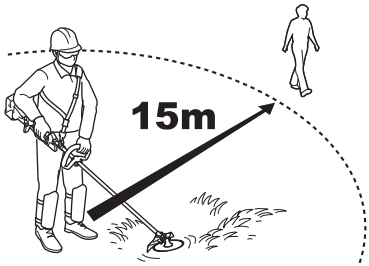
14 本機は両手でハンドルを確実に保持し、体重が両足にかかるように適度に足を開いて使用してください。その際、ハンドル部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにしてください。

・確実に保持していないと、作業中にバランスを失い、けがをする恐れがあります。

⚠ 警告

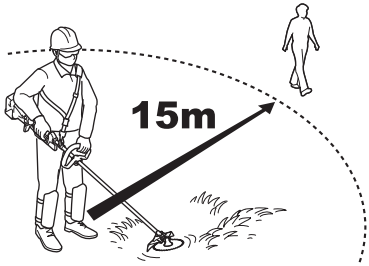
15 本機を始動させる前に、半径15 m以内に他の人や動物がいないことを確認してください。特に子供やペットが近くにいるときは、半径15 m以内にかかわらず使用しないでください。

・不用意に他の人や動物などを近づけると、飛散物が当たるなど思わぬ事故の原因になります。



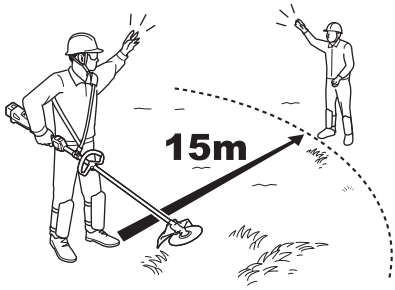
16 使用中は半径15 m以内に他の人や動物などを近づけないでください。また2人以上で作業を行うときは、お互いに15 m以上の間隔を取り、監督者を置いてください。
使用中、15 m以内に他の人や動物などが近づいた場合は、直ちにスイッチを切り作業を中止して注意をうながしてください。

・不用意に他の人や動物などを近づけると、飛散物が当たるなど思わぬ事故の原因になります。



17 本機を使用している人に近づくときは、使用者から15 m以上離れた位置で合図し、スイッチが切られ、刈刃の回転が停止したことを確認してから近づいてください。

・不用意に他の人や動物などを近づけると、飛散物が当たるなど思わぬ事故の原因になります。



⚠ 警告

18 回転している刈刃に手や顔や髪の毛、衣服などを絶対に近づけないでください。
・けがの原因になります。

19 刈刃に雑草などがからみついたときは、必ずスイッチを切り、刈刃の回転が停止したことを確認してから取り除いてください。
・刈刃が回ったままではけがの原因になります。

20 刈刃から手や足が離れていることを確認してから始動してください。
・けがの原因になります。

21 刈刃で打つ、たたくなどの方法で刈払作業をしないでください。
・跳ね返りや刈刃が破損し事故の原因になります。

22 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、または当社営業所まで点検・修理をお申し付けください。
・そのまま使用しているとけがなど事故の原因になります。

⚠ 警告

23 次のような操作・作業はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

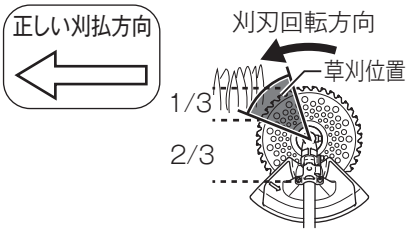
- 刈刃を膝より高く持ち上げての作業
- 刈刃が足元に近づくような作業
- 刈刃が水たまりなどの水に触れるような作業
- 刈刃が土に入り込むような作業
- 本機をバイス（万力）などで固定した作業

24 枝打ちなどの作業はしないでください。

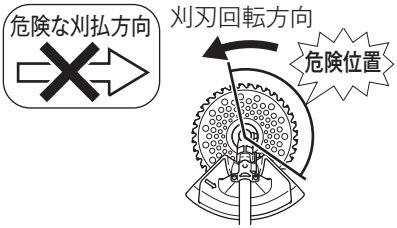
- 樹木や切株などの障害物に刈刃を接触させると、キックバックが起き大変危険です。

25 キックバック現象が起きにくい刈刃の位置で刈払作業をしてください。

- 本機は刈刃が反時計方向に回転します。図を参考に、刈刃の左側の前 1/3 を目安にして、刈刃を右から左に操作して草を刈ってください。



- 刈刃の先端から右側部分で草を刈ったり、硬いものに接触すると、刈刃の回転で障害物を駆け上がる力が働き、本機が右側に大きくはねるキックバック現象が発生することがあり、けがや事故の原因になります。



⚠ 警告

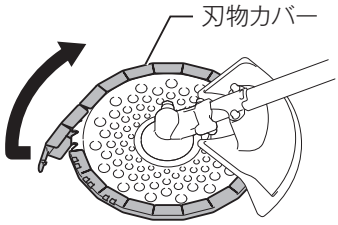
26 誤って本機を落としたり、ぶつけたりしたときは、破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- 破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。

27 刈刃は刃物（刈刃）軸最高回転数よりも高い許容回転数のものを使用してください。
- 刈刃の許容回転数が低いと刈刃が破損し、事故の原因になります。

28 作業に合った刈刃の回転数で使用してください。
- 回転数が低すぎますと雑草がからみつくことがあります。
- 回転数が高すぎますと電力を無駄に消費するだけでなく、本機の寿命を縮める原因にもなります。

29 使用前にネジのゆるみや欠落した部品などがないか確認してください。
- 不完全な本機を使用するとけがの原因になります。

30 作業を始める前に刈刃から刃物（刈刃）カバーを取ってから使用してください。



31 使用中に刈刃が石などの障害物に当ったときは、すぐに本機を停止させ異常がないか調べてください。
- そのまま使用していると事故の原因になります。

⚠ 警告

32 刈刃が地面や樹木、その他の障害物に触れていないことを確認してから始動してください。

・刈刃が障害物に触れていると事故の原因になります。

33 ナイロンコードカッタを使用できる製品は、ナイロンコードの長さ調整後、ナイロンコードが地面や樹木、その他の障害物に触れていないことを確認してから始動してください。

・ナイロンコードが障害物に触れていると事故の原因になります。

34 休憩時など本機から離れるときは、必ずスイッチを切り、バッテリを本機から抜いてください。

・バッテリを本機に差したまま放置すると、事故の原因になります。

35 保守・点検の際は、必ずスイッチを切り、バッテリを本機から抜いてください。

・バッテリを本機に差したまま行うと、事故の原因になります。

36 本機は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は身体に負担をかけることがありますので、定期的に休息をとるようにしてください。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じた場合は、直ちに作業を中断し休憩してください。

・力仕事に不慣れな、例えばご高齢の方は、特に身体への負担にご注意ください。

37 通気口を雑草や刈った草のくずなどでふさがないように常に注意してください。

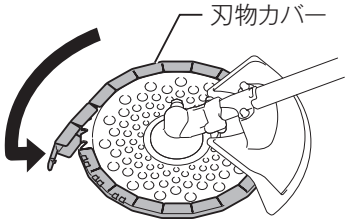
・モータが故障する原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注意

1 身体を冷やさないような服装で作業してください。

2 運搬時や保管時、休憩時は刃物（刈刃）カバーを必ず取り付けてください。
・けがの原因になります。



3 万一の事故に備えて、必ず救急箱を作業場の近くに備え付けてください。救急箱から持ち出した場合には、直ちに交換品を入れておいてください。

4 注意ラベルがはがれてしまった場合は、新しい注意ラベルを貼ってください。
注意ラベルは、お買い上げの販売店、またはお近くの当社営業所に手配をお申し付けください。

5 いつも安全に能率よくご使用いただくために定期点検をおすすめします。点検はお買い上げの販売店、またはお近くの当社営業所にお申し付けください。
・修理の知識や技術のない人が修理しますと、事故の原因になります。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。
保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP X 4

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ /min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ /min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

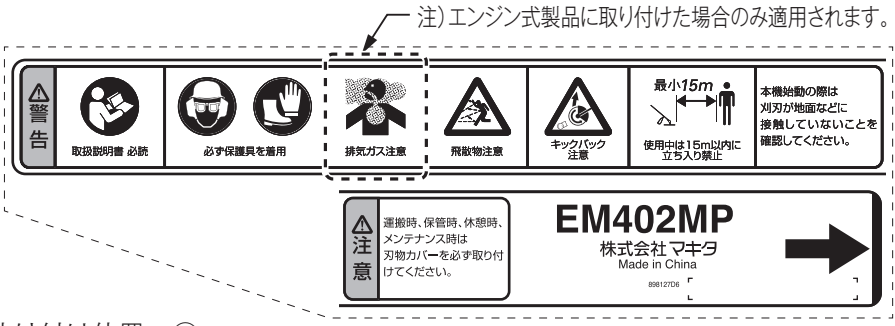
保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。
X	規定しない

注	・IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。 ・工具本体にバッテリを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

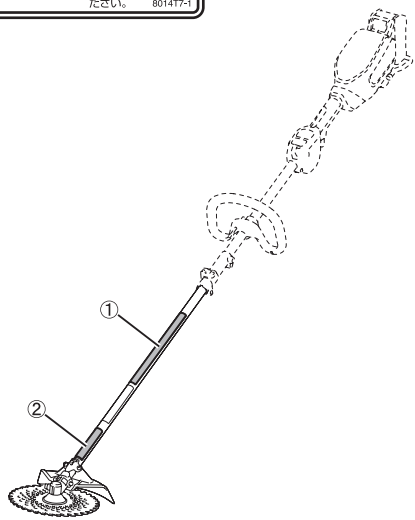
注意ラベル

安全に使用していただくために、アタッチメントには注意ラベルが貼ってあります。装着するアタッチメントの注意ラベルをすべて読んでからご使用ください。
注意ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。
アタッチメントに貼ってあるラベルが汚れ、破れなどで読めなくなったときは、新しいラベルに貼り替えてください。またラベルが貼られている部分を交換する場合は、ラベルも新しいものと交換し、貼り付けてください。
ラベルの手配はお買い上げの販売店、またはお近くの当社営業所にお申し付けください。

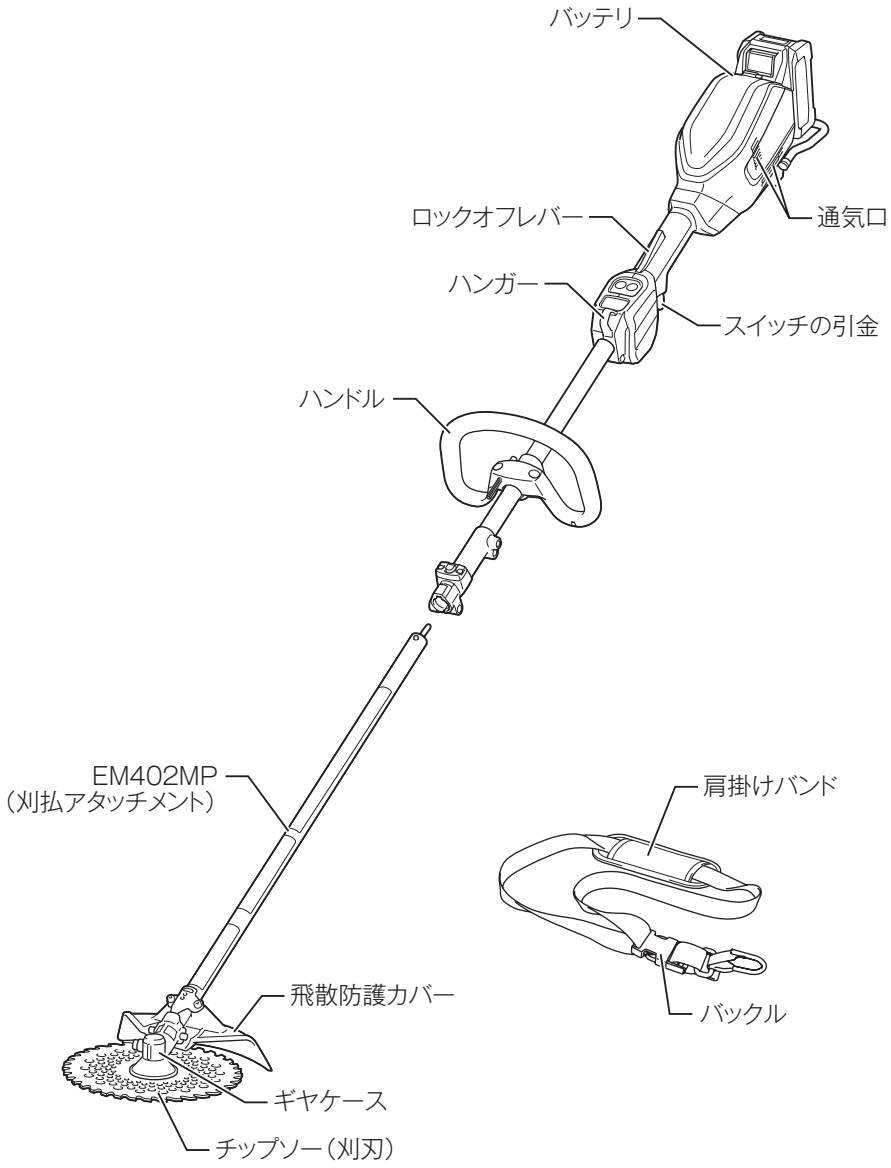
・ 刈払アタッチメント（EM402MP）
貼り付け位置：①



貼り付け位置：②



各部の名称


バッテリ
ロックオフレバー
通気口
ハンガー
スイッチの引金
ハンドル
EM402MP
（刈払アタッチメント）
肩掛けバンド
飛散防護カバー
バックル
ギヤケース
チップソー（刈刃）

標準付属品

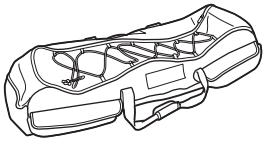
標準付属品＼モデル	MUX01GZ	MUX01GRMM
バッテリ	×	バッテリ BL4040 （容量 4.0 Ah）
充電器 （充電時間）	×	DC40RA （実用充電完了 *1: 約 31 分） （フル充電完了 *2: 約 45 分）
バッテリカバー	×	○
ボックスドライバ 13-16	×	○
チップソー（刈刃）	×	○
EM402MP （刈払アタッチメント）	×	○
刃物カバー	×	○
ツールバッグ	×	○
六角棒スパナ 4	○	○
保護メガネ	○	○
肩掛けバンド	○	○
アクセサリバッグ	○	○

*1 実用充電完了：フル充電完了の約 80% の充電が完了した状態。
*2 フル充電完了：電池の容量いっぱいまで充電された状態。

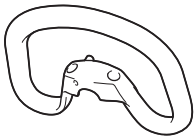
同梱品一覧

充電器（DC40RA）
（充電器付き仕様のみ）

バッテリ（BL4040）
バッテリカバー
（バッテリ付き仕様のみ）



ツールバッグ

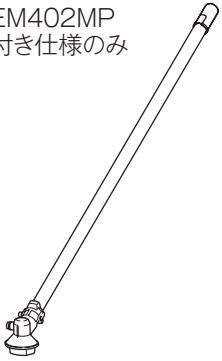


ハンドル

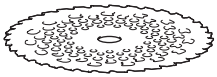
クランプ（上下）

六角穴付ボルト（2本）

EM402MP
付き仕様のみ

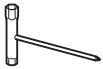


シャフトギヤケース



チップソー（刈刃）

刃物カバー



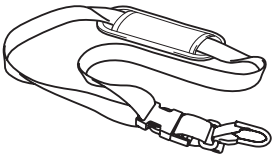
ボックスドライバ
13-16

飛散防護カバー

取付金具

六角穴付ボルト
M5×18（2本）

アクセサリバッグ



肩掛けバンド

保護メガネ

六角棒スパナ4

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

・ 刈払アタッチメント
部品番号：A-53089
（EM402MP）

部品番号：A-71744
（EM408MP）

・ 畦刈ヘッジトリマアタッチメント
（EN421MP）
部品番号：A-61232

・ ヘッジトリマアタッチメント
部品番号：A-53914（EN400MP）
刈込幅 535 mm 角度調整式

部品番号：A-60838（EN410MP）
刈込幅 490 mm 角度固定式

・ カルチベータアタッチメント
部品番号:A-67309（KR401MP）

・ パワーブラシアタッチメント
（BR400MP）
部品番号：A-67474

・ パワースイープアタッチメント
（SW400MP）
部品番号：A-67480

・ ポールソーアタッチメント
（EY401MP）
部品番号：A-53936

・ ポールソーアタッチメント
（EY402MP）
部品番号：A-72257

・ エッジャアタッチメント（EE400MP）
部品番号：A-68622

・ ブロワアタッチメント
（UB400MP）
部品番号：A-70138

・ 延長ポール（LE400MP）
部品番号：A-71794

・ チェーンブレード 91VX-39E
部品番号：A-53285

・ バッテリ BL4025（容量 2.5 Ah）
部品番号：A-69923

・ バッテリ BL4040（容量 4.0 Ah）
部品番号：A-69939

・ バンドアセンブリ（2 点吊り）
部品番号：191N28-4

別販売品のご紹介（刈払アタッチメント用）

⚠警告

ナイロンコードカッタを使用する際は、別販売品のナイロンコードカッタ用プロテクタを取り付けてご使用ください。

当社指定のナイロンコードカッタ用プロテクタを取り付けることで、ナイロンコードが適切な長さでカットされます。

当社指定以外のナイロンコードカッタ用プロテクタを取り付けた場合、飛散物によるけがや本製品故障の原因になります。

ナイロンコードの太さは、φ 2.4 mm 以下にしてください。適切でない太さのナイロンコードは過負荷によって発熱し、本製品故障の原因になります。

・ ウルトラオート４
　部品番号：A-13823

・ タップ式ナイロンカッタ
　部品番号：A-51085

・ ウルトラメタルローラー４
　部品番号：A-58241

・ 楽巻きナイロンコードカッタ
　部品番号：A-55164

・ DC ホワイトチップソー
　（外経 230 mm）
　部品番号：A-67315

・ 軽快チップソー
　（外経 230 mm）
　部品番号：A-56926

・ プロテクタ（ナイロンコード用）
　部品番号：A-51655
　部品番号：A-61341

ご使用前の準備（充電式スプリットモータ）

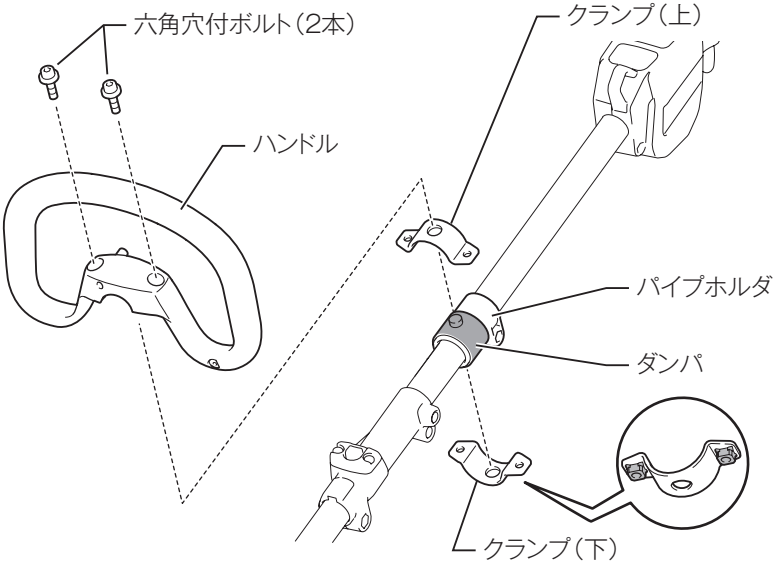
⚠ 警告

本製品の組み立てや付属品の取り付け取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、バッテリを抜いてください。
・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

付属品をしっかり取り付けてから作業してください。

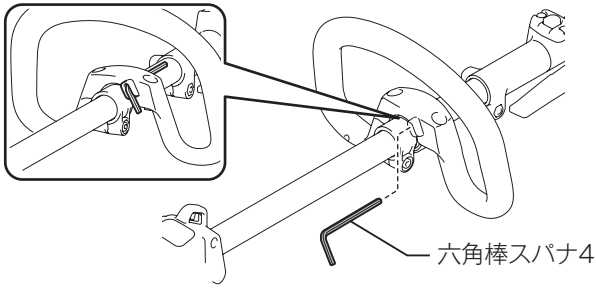
ハンドルの取り付け方

1. クランプ（上）とクランプ（下）をダンパの突起に合わせて位置決めをし、次にハンドルを図の向きにして、六角穴付ボルト（2 本）でクランプに取り付けます。



六角棒スパナの収納方法

・ 六角棒スパナは、図の位置に押し込んで収納することができます。

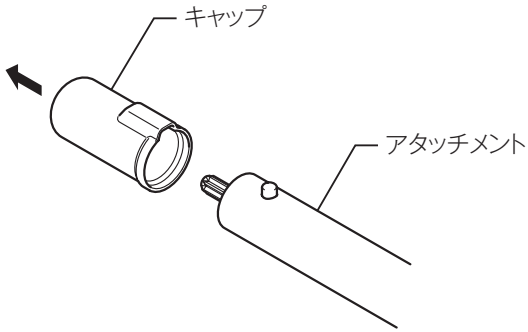


アタッチメントの取り付け方

⚠ 警告

アタッチメントの取り付け・取りはずしの際は製品のスイッチを切ってください。
・ 製品が作動して、けがの恐れがあります。

1. アタッチメントのキャップを取りはずします。



2. スプリットモータのロックレバーを（1）の方向に動かし、ゆるんでいることを確認します。

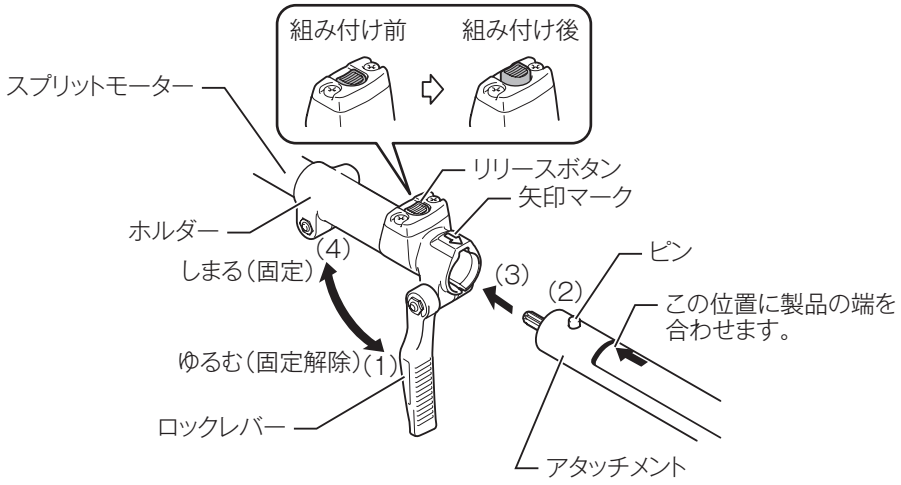
3. 矢印マークにアタッチメントのピンの位置を合わせます。

4. アタッチメントのシャフトを製品の奥まで差し込み、リリースボタンが上がるのを確認します。

・リリースボタンが上がるとホルダーから抜けなくなります。

5. ロックレバーを矢印（4）の方向に動かし、しっかり固定します。

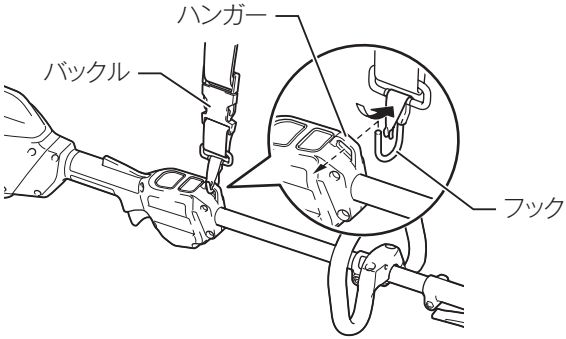
注	・シャフトが挿入されていない状態でロックレバーを閉めないでください。破損の原因になります。 また、リリースボタンが上がっていない状態でロックレバーを閉めないでください。



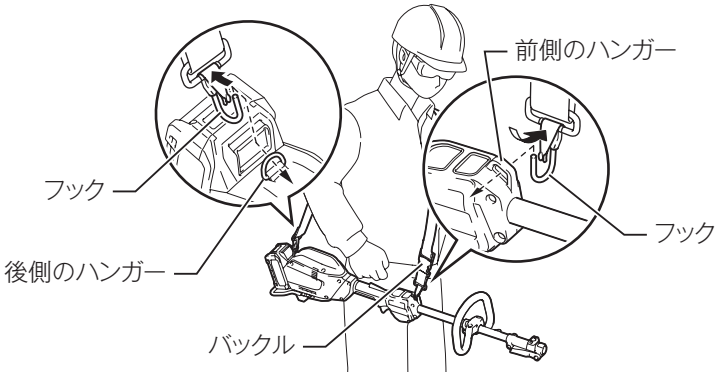
刈払アタッチメント EM402MP の準備については 35 ページ参照。

肩掛けバンドの取り付け方

・ 肩掛けバンドを左肩へたすき掛けし、フックを本製品に引っ掛けます。
・ フックおよびバックルを引っ張って抜けないことを確認してください。



・ 別販売品のバンドアセンブリ（2 点吊り）を使用する場合は、バックルが付いている側のフックを本製品前側のハンガーに、バックルが付いていない側のフックを本製品後側のハンガーに引っ掛けます。
・ フックおよびバックルを引っ張って抜けないことを確認してください。



肩掛けバンドのはずし方

・ 取り付け方と逆の手順で行います。

本製品の離脱

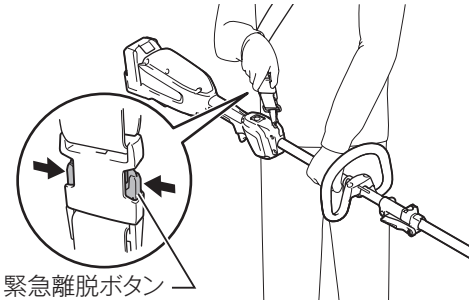
⚠ 警告

緊急離脱のときは、本製品の支持に細心の注意を払ってください。
本製品のコントロールを失うと、作業者自身または第三者が死亡あるいは重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意

緊急離脱ボタンを使って本製品を離脱する場合は、必ず手で本製品を支えながらボタンを操作してください。
・ 本製品を支えずに離脱すると本製品が落下します。

・ 緊急時、緊急離脱装置の離脱ボタンを両側から押すと、本製品を身体から離脱できます。



刃物（刈刃）と飛散防護カバーの組み合わせ

⚠ 警告

刃物（刈刃）と飛散防護カバーは正しい組み合わせで使用してください。
・けがの恐れがあります。

飛散防護カバーをはずした状態で使用しないでください。
・事故やけがの恐れがあります。

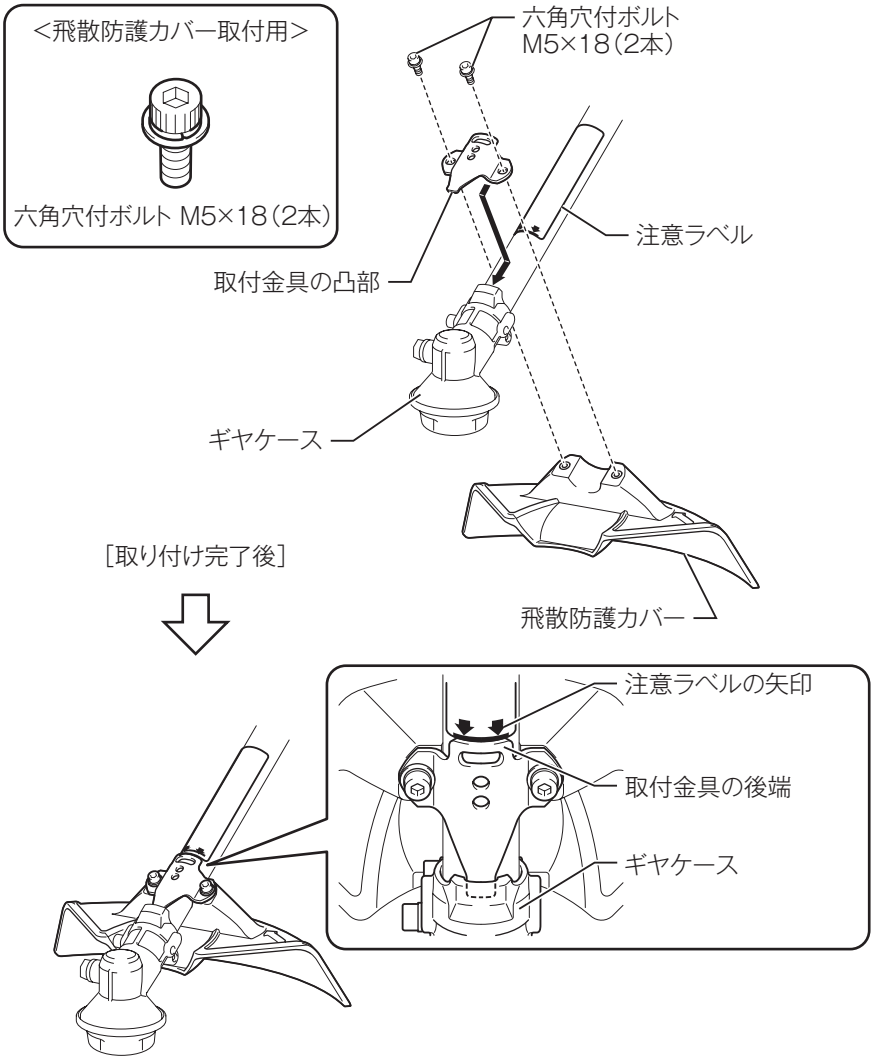
外径が 230 mm の刃物（刈刃）を使用してください。

外径 230 mm を越える刃物（刈刃）を使用しないでください。
・けがの原因になります。

飛散防護カバーは必ず指定の位置に取り付けて使用してください。
・飛散防護カバーを取り付けなかったり、指定の位置に取り付けないで使用しますと小石などが飛散した場合、けがの原因になります。

飛散防護カバーの取り付け方

- 取付金具の凸部を図のようにギヤケースに奥まで差し込み、取付金具の後端を注意ラベルの矢印に合わせてください。
- 取付金具に飛散防護カバーを２本の六角穴付ボルトで取り付け、六角棒レンチでしっかり締め付けてください（２本とも均等に締め付けてください）。



チップソー（刈刃）の取り付け方

⚠ 注意

刈刃の取り付け取りはずしの際は、必ず電源を切り、バッテリを抜いてください。
・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

外径が 230 mm 以下の刈刃を使用してください。
・ 外径が 230 mm を超える刈刃を使用すると、けがの原因になります。

刈刃を取り付けるときは、刈刃の取付穴を刃受金具の凸部に確実にはめ込んでください。
・ 刈刃が正しく取り付いていないと異常振動し、事故の原因になります。

刈刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず刈刃カバーと手袋をしてください。
・ けがの原因になります。

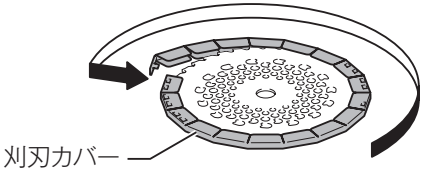
刈刃の取り付け、取りはずしには、必ず付属のボックスドライバを使用してください。
・ 付属工具以外で締め付けた場合、締め過ぎや締め付け不足となり、事故の原因になります。

刈刃にひび割れ、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、刈刃の点検時には必ず手袋を着用してください。
・ 異常があると刈刃が破損し、けがの原因になります。

作業時、刈刃に異常が発生したときは、スイッチを切り、バッテリを抜き、刈刃の回転が止まったことを確認してから点検、交換を行ってください。

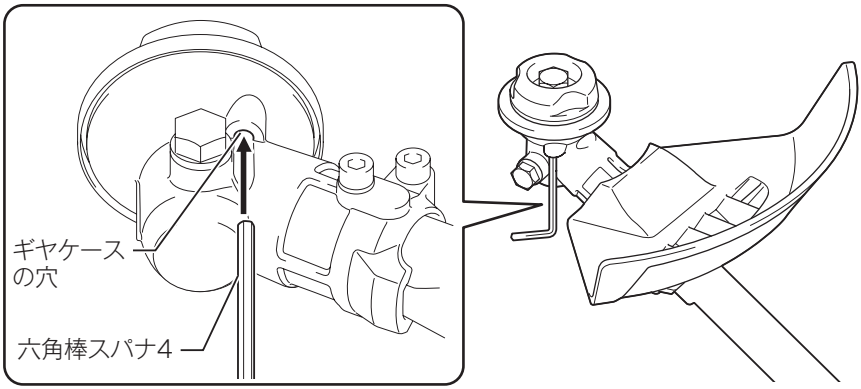
刈刃を固定する締付ボルト、刃押金具は消耗品です。摩耗や変形がありましたら交換してください。

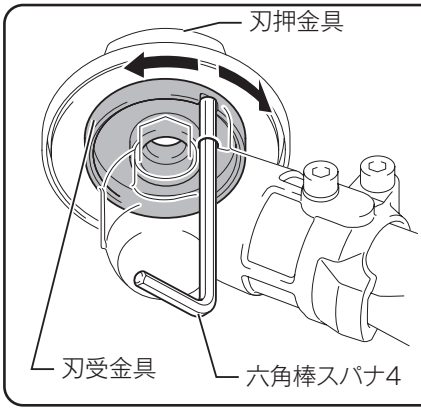
1. 刈刃に刈刃カバーを取り付けます。



2. 刈刃を交換しやすいように本製品を裏返し、ギヤケースの穴に六角棒スパナ 4 を差し込み、刃受金具が回らないように固定します。

・※ギヤケースの穴に土や草などがつまっている場合は細い棒などで取り除いてください。

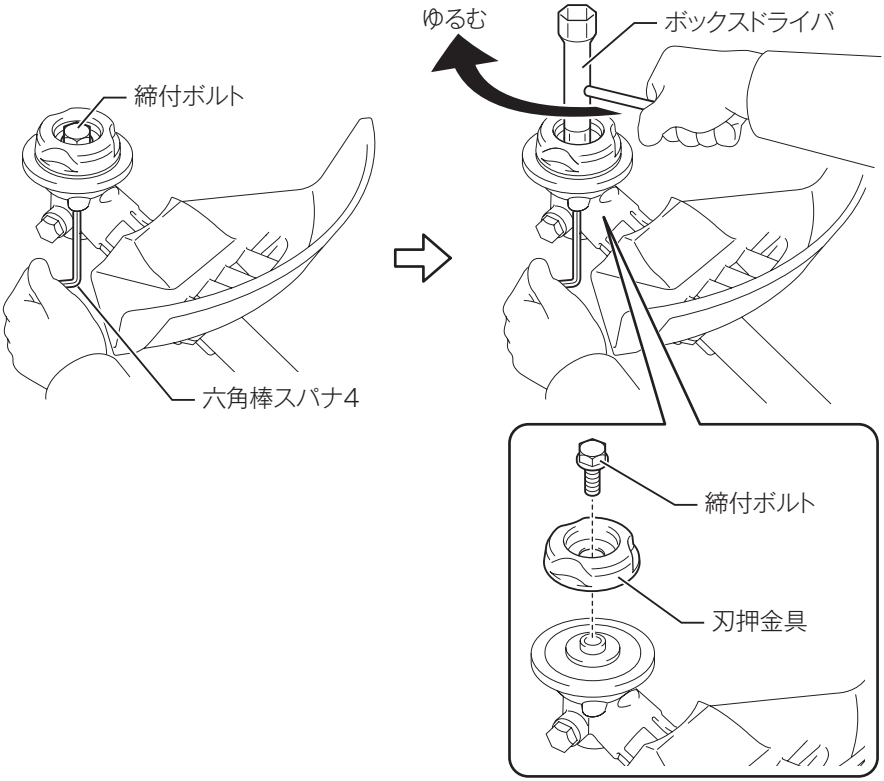




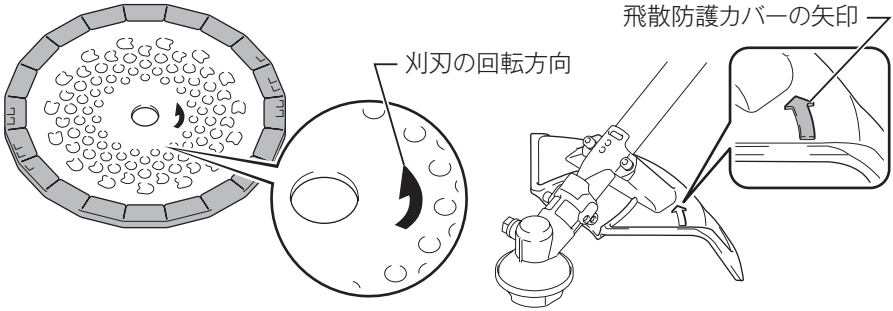
[ポイント]

刃押金具を手で左右に回すと刃受金具と六角棒スパナ4 がかみ合い、固定される場所があります。

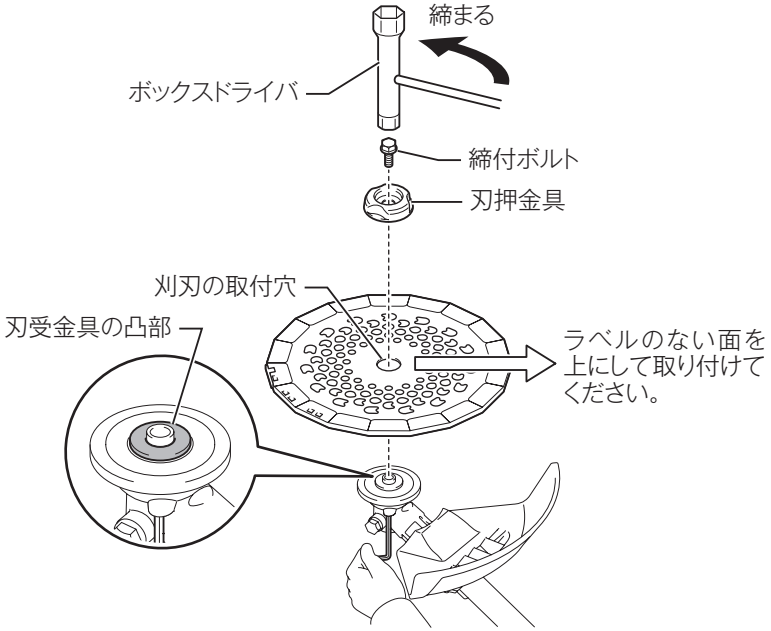
3. 締付ボルト（左ネジ）を付属のボックスドライバで図のように回して、締付ボルト、刃押金具をはずします。



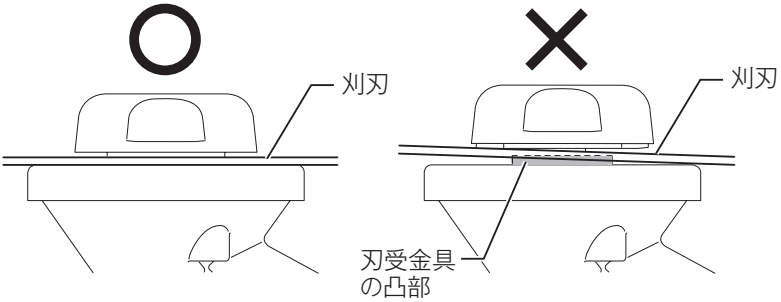
4. 刈刃の回転方向と飛散防護カバーの矢印を合わせます。



5. 刃受金具の凸部と刈刃の取付穴を合わせて、刈刃→刃押金具→締付ボルトの順に取り付け、締付ボルトを付属のボックスドライバで図のように回してしっかり締め付けます。



6. 六角棒スパナ４をはずし、刈刃を手で軽く回して刈刃の取付穴が刃受金具の凸部からずれていないことを確認します。ずれている場合は、もう一度刈刃を取り付け直してください。



7. 刈払作業を行うときは刈刃カバーを取りはずしてください。
刈刃を取りはずすときは、取り付け方と逆の手順で行います。

バッテリの取り付け・取りはずし方

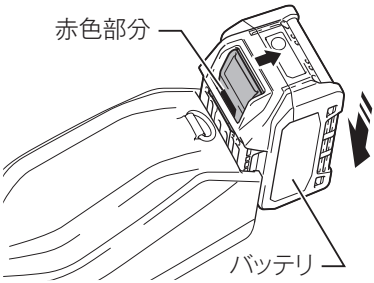
⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。
・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

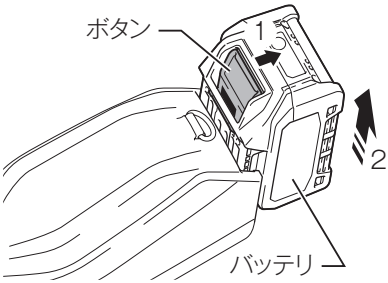
■ 取り付け方

・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部分が見えなくなるまで差し込みます。



■ 取りはずし方

・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。



スイッチの操作

⚠警告

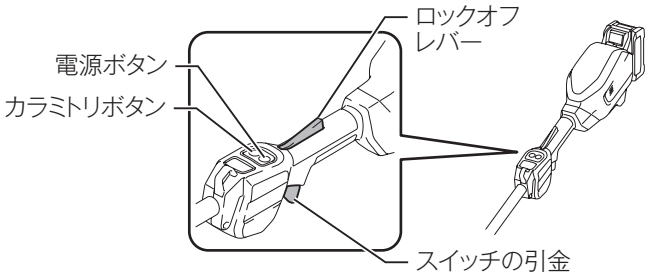
持ち運ぶときは、電源ボタンやスイッチの引金に指をかけないでください。
・ 不意にスイッチが入り、事故の原因になります。

スイッチの引金、ロックオフレバーに異常がないか点検してください。もし異常がある場合は使用せず、修理をお申し付けください。
・ スイッチの引金を操作しても始動および停止ができない場合は異常です。
・ 本製品はロックオフレバーを握ることでスイッチの引金を引ける状態になりますが、ロックオフレバーを握っていない状態で、スイッチの引金を引ける場合は異常です。

ロックオフレバーをテープなどで固定するような使い方をしないでください。
・ 事故の原因になります。

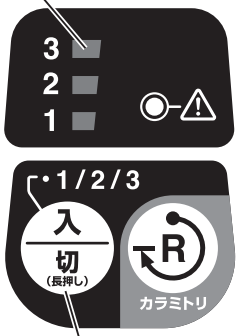
⚠注意

ロックオフレバーを握らずに、スイッチの引金を無理に引かないでください。
・ 故障の原因になります。



■ 電源入 / 切

・ 電源ボタンを押すと電源が入り、回転スピードインジケータが緑点灯します。
・ 電源を切る際は、電源ボタンを長押しします。
・ 再度起動する際は、メモリ機能により電源を切る直前の設定速度で回転を始めます。



注	・電源が入った状態で、1 分間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。

■ スイッチ入 / 切

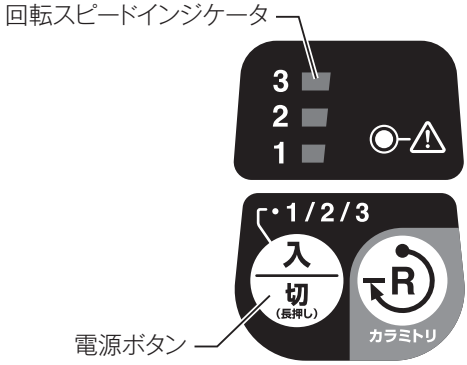
1. ロックオフレバーを握ります。

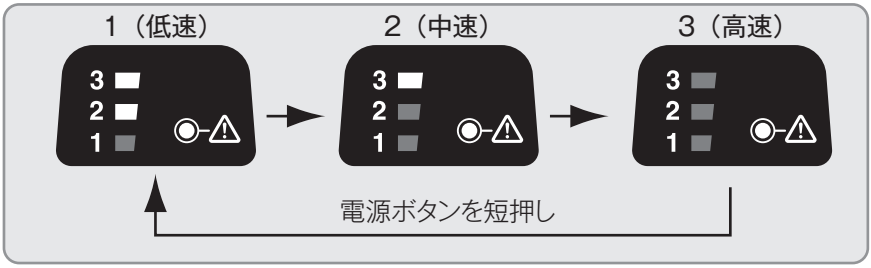
2. スイッチの引金を引くとスイッチが入り、放すと切れます。

3. スイッチの引金の引き加減により、お望みの回転数が得られます。

回転スピードの調整

・ 回転スピードの調整は、電源が入っている状態で行います。
・ 電源ボタンを短押しすることで刃物の回転スピードを変えることができます。





カラミトリボタンの操作

⚠ 警告

カラミトリボタンを操作しても刈刃に絡まった雑草などが取り除けない場合は、電源を切り、バッテリをはずしてから絡まった雑草を取り除いてください。

⚠ 注意

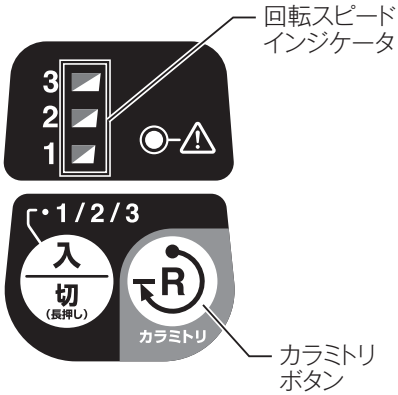
作業前には必ず刈刃の回転方向を確認してください。

刈刃の回転が完全に停止してからカラミトリボタンの操作をしてください。

- 本製品は刈刃に絡まった雑草などを取り除くためにカラミトリ機能が付いています。
- カラミトリボタンの操作は、電源が入っている状態で行います。

1. カラミトリボタンを短押しするとすべての回転スピードインジケータが点滅します。

2. その状態でスイッチの引金を引くと刈刃が右回転（逆回転）します。

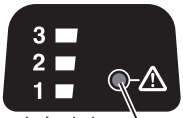
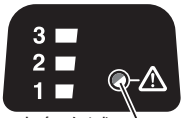
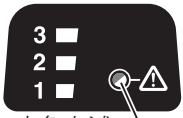
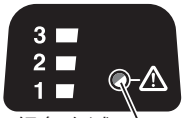


注	・逆回転時は動作開始後、数秒で自動的に停止します。 ・逆回転動作（カラミトリ）後は自動的に左回転（正回転）に戻ります。

保護機能

本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能	警告ランプ
・ **本製品およびバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。** ・使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。 ・バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。	本製品高温時 「赤点灯」  赤色点灯 バッテリ高温時 「赤点滅」  赤色点滅
・ **バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。** ・本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。	 赤色点滅
・ **本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。** ・いったんスイッチを切り、本製品よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。	 緑色点滅

本製品の持ち方（EM402MP（刈払アタッチメント）装着時）

⚠ 警告

本製品は身体の右側に、両手でハンドルを保持してください。

本製品が身体に接触しないように注意してください。

本製品の操作は慎重に行ってください。
・けがや事故の原因になります。

・肩掛けバンドを身につけ、両手でハンドルを保持します。
・作業時は、肩掛けバンドのストラップの長さを作業しやすい位置に調整してください。

刈払作業（EM402MP（刈払アタッチメント）装着時）

■ 作業方法

⚠ 警告

雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。またハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
・ 転倒してけがの原因になります。

草刈りする場所にある小石、針金、空カン、空ビンなどの障害物は取り除いてから使用してください。
・ 使用中、刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、本製品の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故の原因になります。

刈刃に雑草などがからみついたときは、必ず電源スイッチを切った後、バッテリを本製品から抜き刈刃の回転が停止したことを確認してから取り除いてください。
・ 刈刃が回ったままではけがの原因になります。

刈刃で打つ、たたくなどの方法で刈払作業をしないでください。
・ 跳ね返りや刈刃が破損し事故の原因になります。

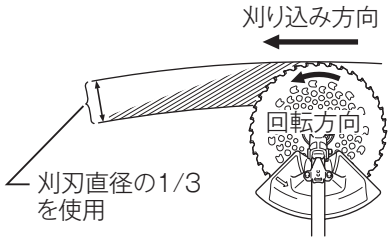
・ 肩掛けけバンドを装着し、本製品を身体の右側に吊ってください。
・ 両手でハンドルを保持し、両足に平均に体重がかかるように開いてください。

・ 刈刃を地面から浮かし、刈払作業に合った適切な回転数にします。刈刃の回転が低すぎますと、雑草が刈刃にからみつくことがありますので注意してください。

刈払作業

・ 本製品は、身体のまわりを右から左へ回すようにしながら前進し、雑草を刈ってください。このとき刈刃を左側へ少し傾けますと、刈った雑草が左側に寄り能率的に作業が行えます。

・ 刈り残しをなくすために、刈刃の先端から 1/3 の範囲で刈ってください。



・ 雑草が高く繁っているときは、まず雑草を高く刈って障害物がよく見えるようにしてからもう一度刈り取ってください。

AFT 機能

キックバック時の急激な回転数低下を検知して自動停止します。
スイッチの引金を放し、バッテリをはずしてから刈払いする場所に障害物がないことを確認してください。その後、再度バッテリを差し込み、スイッチの引金を引いてください。

注	・ AFT はキックバックそのものを防止するものではありません。

バッテリについて

■ バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリを抜いて保管してください。

■ バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

■ バッテリの回収について

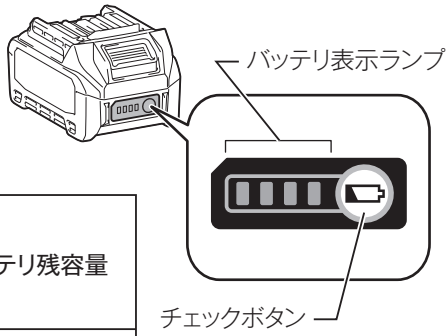
・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

バッテリについて

■ バッテリ残容量表示機能

・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。

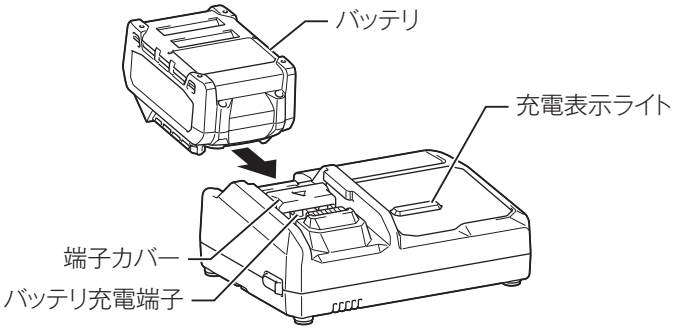


バッテリ表示ランプ :点灯　:点滅　:消灯	バッテリ残容量
	75 % - 100 %
	50 % - 75 %
	25 % - 50 %
	0 % - 25 %
	充電してください。
	バッテリの異常です。

注	・表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。 ・バッテリ保護機能が働いた際は、左端の表示灯が点滅します。

充電器について

■ バッテリの充電方法



1. 充電器の電源プラグを 100 V の電源コンセントに差し込みます。

・充電表示ライトは [緑点滅] を繰り返します。

2. バッテリを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れます。

・充電器の端子カバーはバッテリ挿入に伴い開閉します。

3. バッテリを挿入しますと充電表示ライトが [青点滅（短）] に変わり、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴り、充電を開始します。

4. 実用充電完了状態（約 80 % ～ 100 %）になると [青点灯] に変わり、電子ブザーが約 1 秒鳴ります。

5. フル充電完了状態になると [緑点灯] に変わり、充電完了メロディーまたは電子ブザー音が鳴ります。

・充電時間は周囲温度（10 ℃～ 40 ℃）やバッテリの状態（新品・長期保存バッテリや寿命に近いバッテリなど）により変動します。
・充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。冷却時間は約 30 分です。

6. 充電完了後はバッテリを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜きます。

充電器について

■ 充電完了メロディーの切り替え方法

1. バッテリを充電器に差し込むと、現在設定されている充電完了メロディーの確認音が短時間鳴ります。

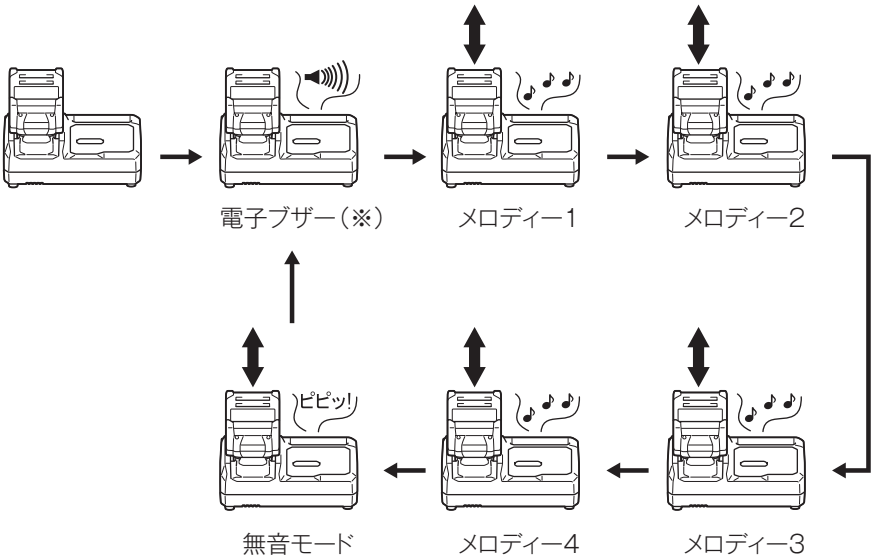
2. このとき、素早くバッテリを差し直すと充電完了メロディーの確認音が変わります。

3. 続けて素早くバッテリを差し直すたびに充電完了メロディーの確認音が順に変わります。

4. 設定したい充電完了メロディーの確認音が鳴りましたら、バッテリを挿入したままにすることで充電を開始します。
「ピピッ！」と鳴るモードを選んだときは充電完了時に音が鳴りません（無音モード）。

5. 充電が完了すると充電表示ライトが [緑点灯] に変わり、バッテリ挿入時に設定した充電完了メロディーや電子ブザー音が鳴ります。無音モードを選択した場合には完了時に音はしません。

6. 設定した充電完了メロディーは充電器の電源プラグを抜いても記憶されています。

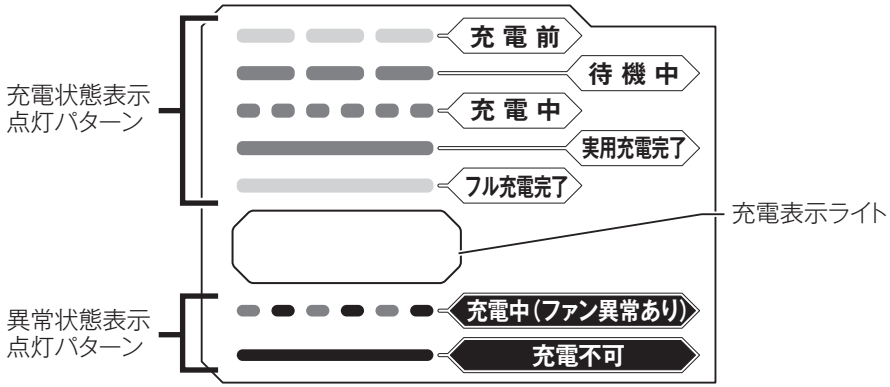


（※）出荷時は電子ブザーに設定されています。

充電器について

■ 充電表示ライトについて

充電表示ライトの内容は以下のようになっています。



充電器について

ライト表示	状態	詳細
緑点滅	**充 電 前**	電源に差し込んだ状態
青点滅（長）	**待 機 中**	バッテリが高温 冷却後、自動的に充電開始
青点滅（短）	**充 電 中**	バッテリ容量約0 %~80 %
青点灯	**実用充電完了**	バッテリ容量約80 %~100 % （80 %で電子ブザーが鳴って お知らせ）
緑点灯	**フル充電完了**	バッテリ容量100 % （電子ブザーまたはメロディーで お知らせ）
青･赤交互点滅	**充電中（ファン異常あり）**	冷却ファンの故障または冷却不 足の状態
赤点灯	**充電不可**	バッテリ寿命またはゴミづまりで 充電不可の状態 （電子ブザーが約20秒間鳴って お知らせ）

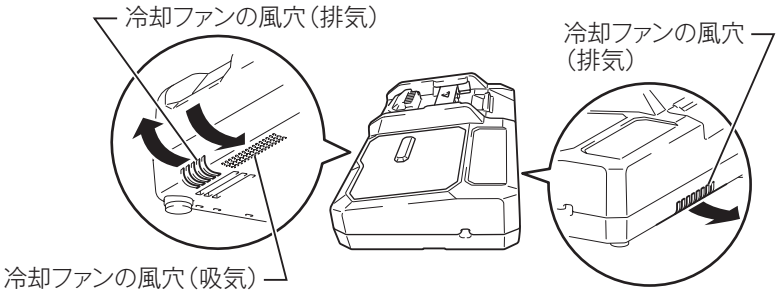
充電器について

注	・DC40RA はマキタバッテリ専用の急速充電器です。他の目的に使用しないでください。 ・使用直後のバッテリや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリを充電されますと充電表示ライトが [青点滅（長）] を繰り返す場合があります。 ・このようなときは、自動的に充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを冷却してから充電を開始します。 ・充電開始後、充電表示ライトが [赤点灯] し、電子ブザーが [ピッピッピッ] と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリの寿命またはゴミづまりで充電できないか、充電器とバッテリ間の通信が異常です。 ・このようなときは、バッテリ充電端子を掃除したり、新しいバッテリに交換してください。 ・次のような状態のときは、充電器またはバッテリに故障があると考えられますので、充電器とバッテリの両方を、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。 × 充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、充電表示ライトが [緑点滅] しない。 × バッテリを挿入しても、充電表示ライトが [青点滅] しない。 ・バッテリを使用しないときは、バッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。

充電器について

■ 冷却システムについて

・ バッテリの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
・ 冷却ファンが故障したり、充電器やバッテリのゴミづまりによって冷却不足となった場合、充電表示ライトが [赤・青交互点滅] し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行いますが、充電時間が長くなることがあります（その場合、実用充電完了表示はありません）。
  ・ このようなときは、充電器、バッテリの風穴がふさがれていないか、または送風の音がしないか、ご確認ください。
・ 充電器の前面と背面にある「冷却ファンの風穴」がゴミやほこりでふさがれていないか定期的に確認、清掃をしてください。



・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、充電表示ライトが [赤・青交互点滅] していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
・ 充電器、バッテリの風穴をふさがないでください。
・ 頻繁に充電表示ライトが [赤・青交互点滅] するようなときは、点検・修理をお申し付けください。

充電器について

■ USB 電源端子への接続

⚠ 警告

USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。
・ 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

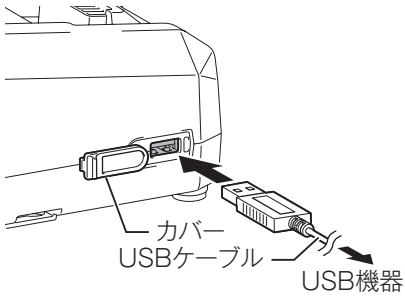
DC40RA は、様々な USB 機器の外部電源としても使用することができます。次の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注	・ 万一の場合に備えて、ご使用になる USB 機器の内部データを必ず事前にバックアップしてください。 ・ 接続した USB 機器の内部データが（予測できない問題により）破損・消失する可能性があります。 ・ USB 機器の種類によっては、動作しない、または充電できない機種があります。 ・ 2.4 A を超える出力電流を必要とする USB 機器は、充電器に接続しないでください。 ・ USB 電源端子の最大出力電流は、2.4 A です。 ・ 充電器と USB 機器の接続には、USB 機器に付属の USB ケーブルをご使用ください。 ・ 使用後は USB 端子カバーを閉じてください。USB 端子カバーが開いていると USB 端子内部に水滴やほこりが侵入し故障につながります。

1. DC40RA 側面の USB 端子カバーを開いて、USB ケーブルで USB 機器と接続します。

2. DC40RA の電源プラグを電源コンセントに差し込んで USB 機器に給電します。

3. 使用後は、USB 機器、USB ケーブルを取りはずし、カバーを戻してください。



4. 電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。

充電器について

■ 壁に取り付けて使用する場合

⚠ 注意

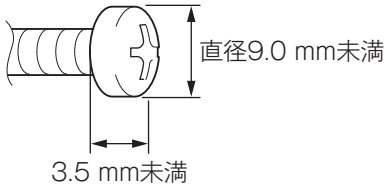
- 壁に取り付けて使用する場合は、必ず吊下げ用ネジ２本で確実に吊下げてください。
- 充電器を吊下げた後は、固定用ネジなどにより充電器を固定してください。固定が不十分な場合、充電器からバッテリを抜き取る際に充電器が落下する恐れがあります。
- 取り付け作業を行うときは、バッテリを抜き取り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 取り付け作業を途中で中断すると落下などの恐れがあります。取り付け手順を守り、最後まで確実に取り付け作業を行ってください。
- 定期的にネジのゆるみがないか確認してください。
- ネジのゆるみがあると充電器が落下する恐れがあります。
- 定期的に充電器の端子部を掃除してください。
- 端子部の掃除を行うときは、エアダスターなどでていねいに行ってください。
- 充電器本体、バッテリ（BL4040）の総重量は、約 2.1 kg になります。取り付け場所の耐荷重が不足する場合は、十分な補強を行ってください。

壁面への充電器の取り付けは、次の手順で行ってください。

1. 事前準備

用意するもの（別途準備してください）

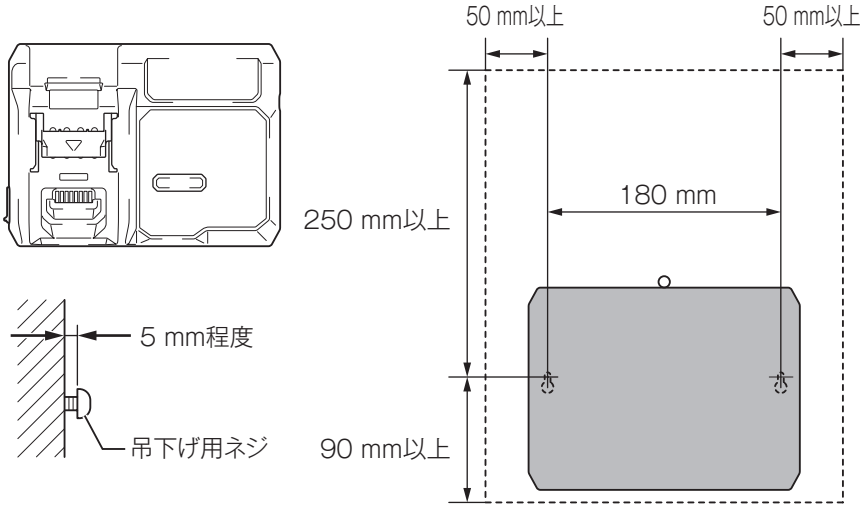
- 木ネジ（吊下げ用）4 mm × 20 mm 以上：２本
  ※ネジ頭は下図の寸法としてください。



- 木ネジ（固定用ネジ 1）4 mm × 25 mm 以上：1 本
- 工具（ネジ締め用）

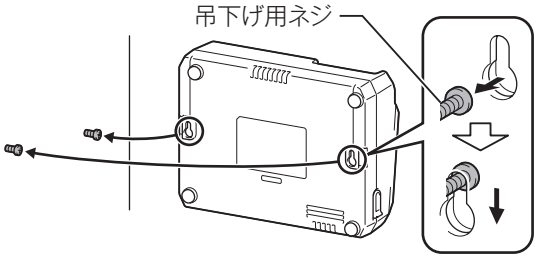
2. 吊下げ用ネジの取り付け

周りに充電器の取り付け作業や、バッテリの充電作業の障害になる出っ張りなどがない、強度のある壁面に取り付けてください。



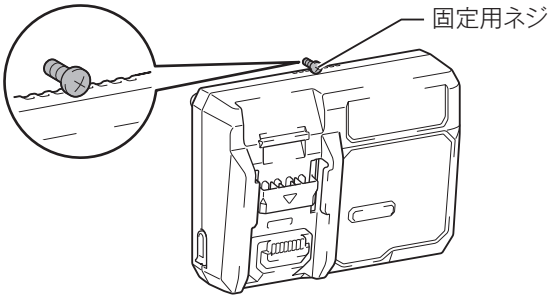
3. 充電器の取り付け

手順 2 で取り付けた吊下げ用ネジに充電器を引っかけてください。



4. 充電器の固定

固定用ネジを図のように締め込んでください。



■ 充電器の点検・修理・保管について

・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
×お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
×温度や湿度の急変する所
×湿気の多い所
×直射日光の当たる所
×揮発性物質の置いてある所

保守・点検について

⚠警告
点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリを抜いてください。 ・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

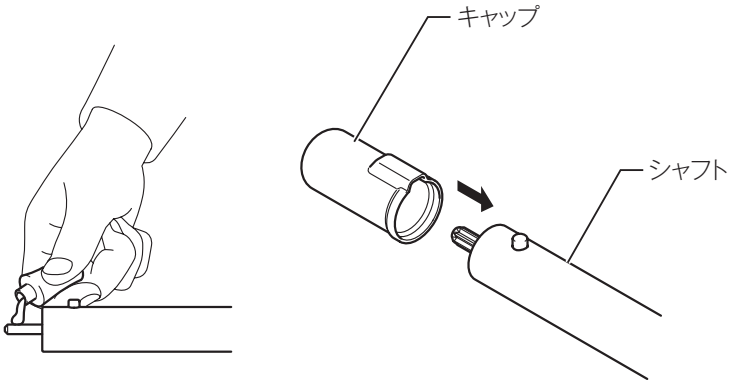
本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注	・ 水洗いは絶対にしないでください。 ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。 ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

駆動軸へのグリス補給および保管

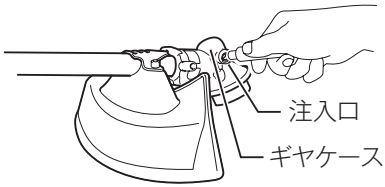
・ 刈払アタッチメントへのグリス補給は作業 30 時間毎に行ってください。
・ 保管する際はシャフトの先端にキャップをかぶせてください。



保守・点検について

ギヤケースへのグリスの補給

・ ギヤケースの注入口よりグリス（シェルアルバニア No.2 相当品）を作業 30 時間毎に補給してください。



保管場所について

・ 保管する際は、本製品からバッテリを取りはずして保管してください。
次の場所には保管しないでください。
×お子様の手が届いたり、持ち出せる所
×直射日光の当たる所
×軒先など雨がかかったり、湿気のある所

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

故障かな？と思ったら

・ 修理を依頼される前に、まずご自身で点検を行い、その上でなお異常があるときは、取扱説明書の記載内容以外はむやみに分解しないで、お買い上げの販売店、またはお近くの当社営業所にお申し付けください。

不具合の状態	原因	対応
本製品が動作しない	バッテリが装着されていない	バッテリを装着してください。
	バッテリ異常	充電してください。充電できない場合はバッテリを交換してください。
	駆動系の異常	点検整備をお申し付けください。
	本製品保護機能による停止	過負荷保護機能の場合：過負荷の要因を取り除いてください。 発熱保護機能の場合：本製品をしばらく停止させてください。 本製品・バッテリ保護機能（46 ページ）記載の表示ランプをご確認ください。
本製品がすぐ止まる	バッテリの残容量が少ない	充電してください。充電できない場合はバッテリを交換してください。
	温度異常	本製品をしばらく停止させてください。
	本製品保護機能による停止	過負荷保護機能の場合：過負荷の要因を取り除いてください。 発熱保護機能の場合：本製品をしばらく停止させてください。 本製品・バッテリ保護機能（46 ページ）記載の表示ランプをご確認ください。
本製品の回転が上がらない	バッテリが正常に装着されていない	バッテリを正常に装着してください。
	バッテリ異常	充電してください。充電できない場合はバッテリを交換してください。
	駆動系の異常	点検整備をお申し付けください。
刈刃が回転しない ↓ すぐに本製品を停止する	締め付けボルトがゆるんでいる	締め付けボルトを正しく締め付けてください。
	刈刃、カバーに小枝などが引っかかっている	異物を取り除いてください。
	刈刃の曲がり	刈刃を交換してください。
	駆動系の異常	点検整備をお申し付けください。
本製品が異常に振動する	刈刃の曲がり、割れ、摩耗している	刈刃を交換してください。
	締め付けボルトがゆるんでいる	締め付けボルトを正しく締め付けてください。
	刈刃が正しく締め付けられていない	
	駆動系の異常	点検整備をお申し付けください。
刈刃や本製品が止まらない ↓ すぐにバッテリをはずしてください	電気系の異常	バッテリをはずし、点検整備をお申し付けください。

主要機能

モデル / 主要機能		MUX01G	
電動機		DC ブラシレスモータ	
バッテリ		リチウムイオンバッテリ	
		バッテリ BL4040（容量 4.0 Ah）	
電圧		直流 36 V（40 V max）※ 1	
刈払アタッチメント		なし（本製品のみ）	EM402MP
刈り込み幅		―	230 mm
刈り込み方式		―	チップソー（刈刃）
回転数	高速	0 ～ 9,700 min^{-1}（回転 / 分）	0 ～ 7,100 min^{-1}（回転 / 分）
	中速	0 ～ 8,200 min^{-1}（回転 / 分）	0 ～ 6,000 min^{-1}（回転 / 分）
	低速	0 ～ 5,700 min^{-1}（回転 / 分）	0 ～ 4,200 min^{-1}（回転 / 分）
本製品寸法		長さ 1,001 mm ×幅 225 mm ×高さ 209 mm	長さ 1,863 mm ×幅 230 mm ×高さ 209 mm ※ 3
質量 ※ 2		4.4 kg	5.4 kg ※ 4
防じん・防水保護等級		IPX4	

充電器	DC40RA
入力電圧	単相交流 100 V
入力周波数	50-60 Hz
入力容量	310 W
バッテリ充電端子	出力電圧　直流 40 V max ※ 1
	出力電流　直流 6 A
USB 電源端子	出力電圧　直流 5.0 V
	出力電流　直流 2.4 A
	形状　USB A 型

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※ 1：40 V max は満充電時のバッテリ電圧を表しています。
※ 2：肩掛けバンド除く
※ 3：刈刃、飛散防護カバー含む
※ 4：刈刃、飛散防護カバー除く

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881F62A1
IWT